

研修名：【推薦】学生の学びを支える（対面・オンライン研修） 全2回

受講種別	推薦研修
ねらい	学生指導に関わる実習指導者が、教育の原理原則や学生を取り巻く環境および若者の特性などを知ること、学生の効果的な学びを支援する知識とスキルを習得する機会とする。
目的	実習指導者として必要な教育に関する基礎知識を習得するとともに、自身の役割を認識し、効果的な実習環境を考えることができる。
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 所属組織における教育理念・教育方針を認識できる。 2. 教育の基礎を理解し、1つ以上述べることができる。 3. 臨地実習の意義を理解し、自身の言葉で述べるができる。 4. 臨地実習指導者として、自身の役割を述べるができる。 5. 臨地実習指導者として、学生への効果的な関わり方を考え、述べるができる。 6. 効果的な指導環境の整備方法（取り組み）を考え、説明できる。 7. 研修での学びを周囲に伝達し、その成果を述べるができる。
実施日時	第1回目：2026年6月11日（木） 9:30~17:00（対面） 第2回目：2026年7月22日（水）13:00~17:00（オンライン：Zoom）
方法	<p>【第1回】 対面形式 会場：東邦大学看護学部 第1講義室（予定）</p> <p>【第2回】 Zoomを使用したオンライン形式（ビデオはオンでご参加ください） ※推奨デバイス：PC ※推奨インターネット環境：Wi-Fiまたは固定回線を使用し、個室環境が望ましい （参考：Zoom 使用時、約 600MB/1 時間データ容量消費） ※タブレット、Wi-Fi モバイルルーターが必要な場合は、参加申し込み時にご相談ください。 （台数限定で貸与可能） ※Zoom 接続や操作については、キャリア支援セクションの個別サポート可能です。希望される方は、お申し出ください。</p>
場所	<p>【第1回：2026年6月11日（木）】 対面：東邦大学看護学部 第1講義室（予定）</p> <p>【第2回目：2025年7月22日（水）】 オンライン：Zoom</p> <p>※自宅等での受講を推奨します ただし、インターネット環境等により会場受講を希望される場合は、以下の会場を利用できます。</p> <p>大森病院の方：後日連絡 大橋病院の方：後日連絡 佐倉病院の方：後日連絡</p>

講座概要	1. 講義 2. 演習 3. グループ討議 4. 実践報告レポート など
講師/ アドバイザー	<第1回> 講師：理学部 新保幸洋 教授 <第2回> 講師：看護学部長 荒木暁子 教授 アドバイザー： 看護学部 桑原亮 助教 看護学部 蓮尾拓也 助教 健康科学部 原田慶子 講師 大森病院 三田村佳代 師長補佐 大橋病院 齋藤裕子 師長補佐 佐倉病院 伊藤ゆかり 主任
対象	東邦大学に所属する看護職員 (ラダーレベル：II b 挑戦中相当)
募集人数	30 名程度 (目安：大森 14 大橋 8 佐倉 8)
受講費	4,000 円 ※ 公費負担のため、受講生のお支払いはありません。 ※ 受講決定メールが届いた時点から、給与天引きの準備が始まります。いかなる理由でも受講費は徴収されますのでご了承ください。
申し込み 期間	2026 年 4 月 13 日 (月) ～2026 年 4 月 20 日 (月) 講座管理システム申し込み締め切り 2026 年 4 月 20 日 (月) 12:00
申し込み 方法	東邦大学看護企画室キャリア支援セクション講座管理システムよりお申し込みください。 ※受講者本人による申し込みが必要です https://kk.nurs.toho-u.ac.jp/kk/kklogin.php ※上司からの推薦文が必要です。受講生が申し込み時に入力してください。
事前課題	【第1回までの事前課題】 提出期日：2026 年 5 月 14 日 (木) 9:00 提出場所：看護企画室キャリア支援セクション講座管理システム 1. 課題レポート作成・提出 ※別紙フォーマットあり テーマ：「もう一度振り返って考えたい学生指導の場面」 学生への指導場면을思い出し、困ったこと・行き詰ったこと・気になったこと (今も気になっていること) 等、もう一度振り返り、考え直したい場면을会話形式で (学生と指導者のやり取りの詳細を双方の会話・態度・表情・表現などを踏まえ) 所定のフォーマットに具体的に記載してください。※フォーマットは講座管理システムからダウンロードし、記載後講座管理システムへアップロードしてください。 2. 研修当日までに、所属組織・部署の教育理念や教育方針をご確認ください。

中間課題	<p>【第2回までの事前（中間）課題】 提出期日:2026年7月10日（金）9:00</p> <p>提出場所：看護企画室キャリア支援セクション講座管理システム</p> <p>1. 課題レポート作成・提出</p> <p>テーマ：所属部署の学生指導の現状と理想の指導環境について —指導者としての私の取り組み—</p> <p>1) 第1回の講義や演習で得た学びを活用し、所属組織・部署の教育理念や教育方針を踏まえて、以下のレポートを作成してください。</p> <p><レポート内容></p> <p>1) 自部署の実習指導環境・状況の現状分析</p> <p>2) 私が目指す理想の指導環境（指導者と教員の連携や自身の役割を含める）</p> <p>3) 理想の指導環境と現在のギャップ（問題）</p> <p>4) 理想の指導環境を作るための私の取り組み（計画と評価の視点）</p> <p>5) 今回の研修の学びを周囲にどのように伝達するか（いつ、だれに、どうやってなど）</p> <p>※提出前に所属長と内容を共有してください。</p> <p><書式></p> <ul style="list-style-type: none">■ 字体等は自由■ A4 サイズ 1～2 枚程度■ レポート左上部に研修名・提出年月日・所属施設名・氏名を記載 <p>研修名：学生の学びを支える</p> <p>提出：2026年〇月〇日</p> <p>所属：〇▽病院</p> <p>氏名：〇× △△△</p> <p>テーマ：所属部署の学生指導の現状と理想の指導環境について —指導者としての私の取り組み—</p>
最終課題 (実践報告)	<p>【第3回最終課題】 提出期日：2026年1月29日（金）9:00</p> <p>提出場所：看護企画室キャリア支援セクション講座管理システム</p> <p>1. 最終レポート作成・提出</p> <p>テーマ：実習環境整備のための私の取り組みと結果の報告</p> <p><レポート内容></p> <p>1) 取り組みの背景</p> <p>2) 取り組み内容（計画・評価の視点）</p> <p>3) 取り組んだ結果とその評価（本研修の学びを周囲にどのように伝達し、どのような成果があったかを含む）</p> <p>4) 今後の課題と指導者としての自身の役割 など</p> <p><書式></p> <ul style="list-style-type: none">■ 字体等は自由■ A4 サイズ 1～2 枚程度■ レポート左上部に研修名・提出年月日・所属施設名・氏名を記載

	研修名：学生の学びを支える 提出：2027年〇月〇日 所属：〇▽病院 氏名：〇× △△△ テーマ：実習環境整備のための私の取り組みと実践報告
タイム スケジュール	※タイムスケジュールは変更する可能性があります。 【第1回】 9:00～ 会場入室 9:30～9:40 オリエンテーション 9:40～12:00 新保教授の講義 12:00～13:00 昼食休憩 13:00～16:50 演習等（休憩含む） 16:50～17:00 まとめ・アンケート説明・課題説明・終了 【第2回】 12:45～13:00 Zoom 入室 13:00～13:10 オリエンテーション 13:10～13:45 荒木教授の講義 13:45～16:45 グループ討議・発表 16:45～17:00 まとめ・最終レポート説明・アンケート説明・終了
推薦図書	<ul style="list-style-type: none"> ・中井俊樹編著他：看護現場で使える教育学の理論と技法，MC メディカ出版，第2版，2023 ・中原淳編著：企業内人材育成入門 人を育てる心理・教育学の基本理論を学ぶ，ダイヤモンド社，2006 ・中原淳著：フィードバック入門一耳の痛いことを伝えて部下と職場を立て直す技術一，PHP ビジネス新書 372，2017 ・阿部幸恵著：新人・学生の思考力を伸ばす指導，日本看護協会出版，2017 ・中原淳著：働く大人のための「学び」の教科書 100年ライフを生き抜くスキル，かんき出版，2018 ・新保幸洋著：看護現場で「教える」人のための本 教える側と教わる側のミスマッチをふせぐために，医学書院，2021
特記事項	※課題レポート・実践報告書等はグループメンバーに資料として配布します。プライバシーの保護など適切に対応・処理をしてください。（電子配信で共有します） ※受講登録者以外への動画視聴・閲覧共有は固くお断りいたします。また、講義内容、テキスト、画像等の無断使用、無断転載を禁じます。
開講責任者	東邦大学法人本部看護企画室キャリア支援セッション：徳留彰子
連絡先	電話：03-3762-9890（直通）03-5763-6529（看護企画室）内線：5383（直）2162（看） メールアドレス： career@jim.toho-u.ac.jp